

本日、林市長が、 菅 内閣官房長官、奥野 総務副大臣、 宮川 文部科学大臣政務官へ提案・要望を行いました

本日（6月22日）、林市長が、菅 義偉 内閣官房長官、奥野 信亮^{しんすけ} 総務副大臣、宮川 典子 文部科学大臣政務官に対して、国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
9時45分 ～10時00分	総務省 奥野 信亮 ^{しんすけ} 総務副大臣	<ul style="list-style-type: none"> 「特別自治市」の早期実現 三大都市圏の指定都市等を核とした広域連携の促進
11時30分 ～11時45分	内閣官房 菅 義偉 内閣官房長官	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市の提案・要望（全体説明）
14時10分 ～14時25分	文部科学省 宮川 典子 文部科学大臣政務官	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童対策の推進と 保育・教育の安定的な基盤づくり 学校における働き方改革の取組の促進 国と地方が一体となった文化芸術振興の推進

※文部科学省では、ラグビーワールドカップ 2019 開催自治体協議会の会長として「ラグビーワールドカップ 2019™開催に係る支援について」の要望書を、併せてお渡ししました。

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、裏面のお問合せ先までご連絡ください。



(奥野 信亮 総務副大臣)



(菅 義偉 内閣官房長官)

裏面あり



(宮川 典子 文部科学大臣政務官)

3 林 市長コメント

奥野 総務副大臣からは、横浜市が現場の視点から実践的に取組を進めていくことを期待するコメントをいただきました。

菅 内閣官房長官には、横浜市の提案・要望の内容についてしっかりと受け止めていただきました。

宮川 文部科学大臣政務官からは、「横浜市のようなチャレンジする地方自治体の意見を聞きながら、文部科学省として施策の充実を進めていきたい」というコメントをいただきました。

このたびの提案・要望に挙げた施策はいずれも、人口減少社会の到来をはじめ、直面する課題を乗り越え、持続的な成長を実現していくうえで必要不可欠なものです。国や他の地方自治体と連携して、日本の社会・経済の成長をけん引していくうえでも、国において、このたびの提案・要望をぜひ実現していただきたいと思います。

お問合せ先

政策局大都市制度推進課地方分権担当課長 瀧澤 朋之 Tel 045-671-2109